

(1)事業の概要等

事業番号	Z0103-1
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市政情報発信事業					担当部			市長公室		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降			担当課			広報広聴課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	自治体経営編	基本 施策	1	展開 方向	3	担当係			情報メディア係		
	予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	3	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	—					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	<p>・情報通信機器の普及に伴い、新しい通信媒体を利用して積極的に市政情報を発信し、市民がより手軽に市政情報を得ることができるようにする。多様な通信機器を利用することで、多方面から情報発信をすることができる。インターネットを活用することにより、市内外に有効かつタイムリーに情報伝達ができる。</p> <p>・デジタルデバインド対策等、誰もが情報を得ることができる環境を整備する。</p>										
	対象 (何・誰を対象に)	市内外の全ての方										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>・市の各種施策や計画についての説明や行事等の情報を提供し、行政に対する理解と協力を得るため、5分間の市政番組(市政だより)を制作し、ケーブルテレビ及び小牧市ユーチューブチャンネルで放送・公開した。また、本会議ライブ中継をケーブルテレビで放送した。</p> <p>・ホームページやSNS(フェイスブック、ツイッター、ライン)を活用して多くの人に情報が届くよう情報発信を行った。</p> <p>●直接経費(令和4年度) 通信運搬費 67千円 市政情報番組作成委託料 10,362千円 ホームページシステム保守管理委託料 3,063千円 セグメント配信システム使用料 163千円</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目		単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	11,804	13,294	13,330	12,578
			国・県支出金	千円	—	—	—	—	
			その他	千円	765	524	597	1,079	
			計(A)	千円	12,569	13,818	13,927	13,657	
		対前年比	%	—	109.9%	100.7%	98.0%		
	予算額	千円	15,219	15,343	14,731	16,151	16,459		
人件費	正規職員		人	1.00	1.00	1.00	1.00		
	正規職員(平均賃金)		千円	7,486	7,486	7,486	7,486		
	その他職員		人						
	その他職員(時給×時間)		千円						
	計(B)		千円	7,486	7,486	7,486	7,486		
事業費合計(C=A+B)			千円	20,055	21,304	21,413	21,143		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		1		展開方向		3	
指標名		単位	方向性	基準値		R2	R3	R4	R5
1									
2									
3									

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
指標	成果指標	市公式YouTubeチャンネルのチャンネル登録者数	人	目標	—	—	—	—
				実績	—	990	2,378	2,980
	市SNSのフォロワー数	人	目標	—	—	—	—	
			実績	8,970	24,245	67,908	73,390	
活動指標	市公式YouTubeチャンネルへの動画投稿数	件	目標	—	—	—	—	
			実績	—	—	108	105	
	取材件数	回	目標	—	—	—	—	
			実績	—	—	115	148	
単 事 業 あ た り 費	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの					
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市政番組(市政だより)については市民の方が関心を持っていただける話題を取り上げるよう努めた。 ・SNS(フェイスブック、ツイッター、ライン)の友だち登録数は順調に増加している。 ・ホームページについてはウェブアクセシビリティへの対応など利用しやすいホームページの作成に努める必要がある。 ・デジタルデバインド対策としてスマートフォンの使い方等の講座を充実させる必要がある。 ・市公式LINEでの配信を充実させるためセグメント登録者を増やす必要がある。 						
	今後の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式LINEの友だち登録者数やセグメント配信登録者数を増加させる取り組みを行う。 ・ホームページをより多くの方に利用していただけるようウェブアクセシビリティへの対応ができていない部分等の指摘を外部に委託し修正を行う。 ・デジタルデバインド対策として高齢者向けのスマートフォン講座を開催する。 						
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節		